

〔国際会議発表〕

| | | |
|-------|--|---------|
| 発表研究者 | 関西大学大学院 理工学研究科 博士後期課程 芦田 淳 | 2192101 |
| 参加会議 | 27 th International Conference on Computers in Education (ICCE2019) | |
| 開催場所 | 墾丁・台湾 | |
| 出張期間 | 2019年12月1日～2019年12月7日 | |
| 発表論文 | Novel Writing Support System by Target Readers' Story Arcs and Characters' Emotional Changes | |

概 要：

本国際会議発表助成により、台湾の墾丁で開催された、Asia-Pacific Society for Computers in Education (APSCE) が主催する国際会議、27th International Conference on Computers in Education (ICCE2019) に参加した。ICCE はアジア・太平洋地域で 1989 年から開催されている、教育分野におけるコンピュータの利用に関する主要なカンファレンスである。今回は、メインのセッションだけでなく、4 件のキーノートスピーチをはじめとして、ワークショップ、チュートリアル、博士学生コンソーシアムといったプレカンファレンスイベントなどの数多くの種類の発表が行われた。

受領者はメインカンファレンスのパラレルセッションの内、Sub-Conference on Artificial Intelligence in Education/Intelligent Tutoring Systems (AIED/ITS) というセッションにおいて発表した。本発表では、著者の主張を読者に伝えられる様な小説を執筆するために、読者の好むような展開の導出を支援することを目的として、小説が読者に与える感情の起伏の側面から読者の好みを想定し、想定した起伏を表現できるような登場人物の具体的な感情の設定を支援する手法について口頭発表した。発表後も参加者とのディスカッションを通して、今後の研究に繋がるヒントを得ることができた。本発表は、受賞には至らなかったが、Best Technical Design Paper Award にノミネートされた。また、他の発表を聴講し、XR 技術や、ゲーミフィケーションなどの近年注目を集めている技術・概念の教育分野への導入といった、教育分野における様々な側面での ICT の利用に関する最新の知見や研究動向について知ることができたとともに、自身の研究の位置づけを再考する良い機会となった。これらのことから、本学会への参加の経験は、今後の研究の発展に有意義なものになったと考えている。